

# 平成25年度 事業報告

- ・ 社会福祉法人 タンポポのはら 法人本部
- ・ 生活介護事業
- ・ 就労継続B型事業

社会福祉法人タンポポのはら

# 平成25年度 社会福祉法人タンポポのはら

## 事業報告

### 1. はじめに

平成25年度はグループホームの火災、入所事業所の虐待など、社会福祉事業における痛ましい事件事故が起きることがありました。

当法人としても『虐待防止について』、『権利擁護について』、『成年後見制度について』の外部研修派遣を行い、それを踏まえ内部研修を行いました。

また、自然災害について改めて確認を行うとともに、職員がどう判断し行動するかを検証しました。日々の支援に活かせる実践的な自閉症支援の研修を行い、利用者支援の基礎となる学習ができたとの感想が出ていました。自閉症支援と題して実施しましたが、コミュニケーションの学習、行動療法の内容はすべての利用者さんに共通することであり、活発な意見も出ていました。

開設当時に作成した規程集が今日の状況と異なることが多くなってきたため、各規程の見直しに着手し、法人役員のご協力があり、就業規則や給与規程、経理規程を年度内で改定することができました。今年度も引き続き改定に取り組みます。

### 2. 法人本部報告

#### (1) 理事会の開催

開催回	日時	場所	内容
第1回	H25.5.22(水)	社会福祉法人 タンポポのはら	H24年度 事業報告(案)について H24年度 収支決算(案)について H25年度 第1回監事監査報告
第2回	H25.10.29(火)	社会福祉法人 タンポポのはら	H25年度 補正予算 社会福祉法人タンポポのはら就業規則 改定案 社会福祉法人タンポポのはら有期契約職員就業規則 改定案 社会福祉法人タンポポのはら給与・退職金規程 改定案 社会福祉法人タンポポのはら経理規程 改定案 送迎費用について H25年度 第2回監事監査報告
第3回	H26.3.7(金)	社会福祉法人 タンポポのはら	H25年度 第二次補正予算 就労事業における積立金について H25年度 第3回監事監査報告

## (2) 評議員会の開催

開催回	日 時	場 所	内 容
第1回	H25. 5. 22 (水)	社会福祉法人 タンポポのはら	H24年度 事業報告(案)について H24年度 収支決算(案)について H25年度 第1回監事監査報告
第2回	H25. 10. 29 (火)	社会福祉法人 タンポポのはら	H25年度 補正予算 社会福祉法人タンポポのはら就業規則 改定案 社会福祉法人タンポポのはら有期契約職員就業規則 改定案 社会福祉法人タンポポのはら給与・退職金規程 改定案 社会福祉法人タンポポのはら経理規程 改定案 送迎費用について H25年度 第2回監事監査報告
第3回	H26. 3. 7 (金)	社会福祉法人 タンポポのはら	H25年度 第二次補正予算 就労事業における積立金について H25年度 第3回監事監査報告

## (3) 監事監査の実施

開催回	日 時	場 所	内 容
第1回	①H25. 5. 9 (木) ②H25. 5. 10 (金) ③H24. 5. 19 (土)	社会福祉法人 タンポポのはら	①会計監査(細川監事) ②業務監査(阿部監事) ③会計監査(細川監事)
第2回	①H25. 8. 6 (火) ②H25. 8. 9 (金)	社会福祉法人 タンポポのはら	①会計監査(細川監事) ②業務監査(阿部監事)
第3回	H25. 10. 16 (火)	社会福祉法人 タンポポのはら	会計監査(細川監事)
第4回	①H26. 1. 30 (木) ②H26. 2. 7 (金)	社会福祉法人 タンポポのはら	①会計監査(細川監事) ②業務監査(阿部監事)

## (4) 研修(別紙参照)

### 3. ギャラリーヴィン

平成24年度より行っている、職員の自己反省と次年度の目標を明確し、法人として職員一人一人に期待することを明らかにする個別面談を実施しています。

職員個々に達成して頂きたいことが異なるため、達成できたこと、できなかったこと、それはなぜそうなったのかを明確にすることが大切と考えています。内部研修会は面談の中で職員から希望があり実施したものであり、研修の後、実践に移すということが見られていました。今後

においても、重要な位置付けとして考えていきます。

生活介護においては、より細部を『知る』ための資料となるようアセスメント表を改定し、利用者さんの特性を更に理解することに繋がりました。作業では新しい農作物に挑戦し、冬期間の作業として利用者さんに提供することができました。

作業活動での担当制を引くことにより、職員一人一人が責任を持って業務にあたることができ、それぞれが企画立案をすることで、より良い計画と実行がなされたと思っております。

就労において喫茶からベーカリーのショップとしてリニューアルし、お客様が毎日来店されるなど、ショップの売り上げが0という日はありませんでした。リニューアルから大きな成果を上げることができたという良いと思います。今まで大切にしてきたコンセプトを大切にしながらも、新しい客層に対応できるような製品作りをすることで、遠方より来店される方もおり多くの方にご来店して頂きました。

### (1) 生活介護事業

毎朝の情緒や体調面の確認を行い、それに基づいた活動の提示を行いました。それぞれの情緒の安定を図ることを柱に、自立と自助の技術の発達とより人生を楽しむための興味や趣味を発見し伸ばすことを重視した取り組みを行いました。

一日の主な活動内容は、紙漉き、個別集中ワーク、体操や散歩、レクリエーション、創作活動などを実施しました。体操や散歩、レクリエーションでは、楽しみながら体を動かすことで、ストレスの発散や体力作り、身体的な機能の低下を防ぎ、健康の維持・向上を図る目的で行いました。3か所ある個室は、複数の利用者が時間差で使用しました。他者の動きや雑音等の刺激が気になり活動に集中することが苦手な利用者が、落ちついて活動に取り組み、クールダウンしながら作業に集中できる空間として活用しています。

作業や創作活動は、指先を使うことを重視しながら、紙漉き、クレヨン画、貼り絵などを本人のペースで落ち着いて取り組めるよう支援しました。編み物や手芸などの活動では、簡易的な道具を上手に使いこなせるようになり、毎日の活動として継続して取り組んでいます。出来上がった作品は「アートなひろば」で展示できることを目標に、利用者それぞれの個性や興味に対応できるように取り組みました。今後も毎日、少しずつ取り組むことで一つの作品が出来ることの楽しさを感じてもらえたらと考えています。季節限定で海洋センターB&Gのプールでの水泳、テラスでの足水を行いました。

お花見、ドライブ、余暇イベントとしてお祭り参加や焼肉パーティーを行いました。いつもと違う活動として楽しんで参加する様子が見られました。また、生産活動ではビニールハウスでの原木椎茸栽培、畑ではハマボウフウ他、野菜の栽培、ミニひまわりやグリーンの栽培を行い、それを用いてミニブーケの作製、販売を行いました。

#### ①日課

1日の活動の主な流れ	
午前	朝のミーティング～体操（ダンス）～牛乳パック作業・個別集中ワーク・刺繍・受託作業・園芸作業・パン配達
午後	口腔ケア～体操～創作活動・紙漉き・散歩・園芸作業～レクリエーション～帰りのミーティング

## ②紙造形（工房ゆらゆら）

紙漉きを行うための下準備として、また、指先を使い机に向かって落ち着いて出来る作業として牛乳パックのラミネート剥しやチップ作り、牛乳パック切りを、それぞれが自分たちのペースで行いました。毎日取り組む活動として、定着しておりスムーズに取り組むことが出来ません。同じ作業の繰り返しに飽きている様子が見られた場合や、集中力を継続することが難しい利用者には、得意な工程で力を発揮できるよう取り組みました。また、苦手なことにも無理のないペースで少しずつ挑戦できるよう支援しました。漉いた紙は創作活動で使用し絵を描いたりする他、立体的な作品作りも行いました。

## ③創作活動

個別にじっくり取り組むクレヨンやマジックで絵を描く活動のほか、立体的な作品作り、貼り絵等を行いました。貼り絵の材料には紙漉きで漉いた紙の他にカレンダー等のなど身近な素材を生かし、複数の人が携わりみんなで作品を作り上げ、ヴィン建物内に展示しました。編み物、刺繍、織りに取り組みました。刺繍は毎日、取り組む活動として定着しています。出来上がった刺繍を更に髪飾り等に加工し、イベントやヴィン敷地内パンショップ、りんくる喫茶コーナーで販売されました。

## ④個別集中ワーク

個別ワークは毎日繰り返し行う課題が自立で行い、社会生活に活用できる行動に反映させることが目的とされています。単なる時間潰しではなく自立した行動を増やしていく学習の1つです。個別に毎日20分～30分程度、ワークに取り組み、利用者それぞれの得手不得手や能力を考慮し、数種類のワークを用意しています。継続して取り組むことで少しずつ理解し、楽しさ、達成感を感じながら一定時間集中して取り組むことが出来るよう調整します。毎日行う活動であることは意識の中に定着していて、スムーズに取り組む様子が見られます。今後は、ワークの難易度に留意しながら、持っている力を伸ばしつつ、興味の幅を広げられるように支援します。個別での活動なので個室で取り組む事が理想的なのですが、現在、個室は3箇所しかないため、長机で2人ずつの他、その時使用できる個室を時間差で順番に使用している状態でワークエリアの個室数を確保していく必要があると感じています。

## ⑤健康の維持・増進

昼食後に口腔ケアの時間を設けて、見守りと介助を行いながら歯磨きを習慣づけ、口腔内を清潔に保つことで快適さを覚えることが出来るよう支援しました。石狩市の歯科衛生士、保健師による定期検診も行いました。また、月に一回、体重、血圧、体温の測定を行い、継続して記録をとることで、一人一人の平均的な数値を把握し、体調の変化の早期発見に努めました。記録したデータは家庭での健康管理に役立ててもらえるよう、3ヶ月に一度記録表を配布しました。

## ⑥体力づくり

体操（ダンス）、ウォーキング等、楽しく体を動かしながらの体力づくり、気分転換を図るため行いました。その日の天候や利用者の体調により内容を変化させながら作業とのメリハリを作るよう支援しました。天候の良い日は、スポーツ広場や、石狩市図書館までのウォーキングをすることを積極的に行いましたが、個々の体力に合わせ歩く距離や速さをグループごとに分けることで皆が無理なく参加できるよう配慮しました。また、エアロバイクの寄贈を受け、全員ではありませんが天候に左右されることなく毎日取り組める日課として定着しています。

## ⑦レクリエーション

的当て・輪投げ・ボーリングなどのゲームを始め、玉転がし・玉運びなどのリレー競技、絵カード合わせ、パズル、紙芝居など様々な内容を提供しました。興味のあることがそれぞれ違うため、毎日数種類、リクエストを取り入れつつ遊びを提供しています。数名でゲームをする他に一人で個室やお気に入りの場所で静かに本を読んだりする時間にもなっています。また、ボランティアさんによる絵本や紙芝居を読み聞かせてくれる時間を設け、いつもと違うレクリエーションとして定着し楽しんでいます。不定期でボランティアのインストラクターを招き「ズンバエクササイズ」も行いました。特に冬季間、屋内での活動が多くなりがちであるため、汗を各程度に体を動かす活動はとても有意義です。

## ⑧お楽しみ DAY

日々の日課に少しでも変化をもたせるため、誰もが楽しみながら行える活動となることを目標とし、月2回のペースで実施しました。ホットケーキ、クレープ、ピザ、どら焼き、フルーツゼリーなど、皆が楽しんで参加することが出来るおやつ作りとうどん作りに挑戦しました。いずれの活動でも、利用者一人一人が出来ること、得意なこと、楽しめることが異なるため、それぞれが様々な工程の中で関わられるように配慮しました。毎月1回行われるうどん作りでは、「うどん踏み」の活動が定着しており、皆で踏んだあとには「美味しいうどんが食べられる」ことを楽しみにしながら取り組みました。うどんつゆに入っている椎茸や長ネギは園芸活動で栽培したものを使用しました。

## ⑨生産活動

### I. 会報（タンポポのはら通信）

発送に関する作業を受託しています。郵送用の封筒の準備（スタンプ押し、ラベル貼り、封筒のカット）会報の折り、封筒入れ、テープ貼りを行いました。作業工程を分割して提供することで、得意な工程を担当し積極的に取り組むことが出来ました。また、苦手だった作業も毎日少しずつ行うことで、徐々に上達する姿も見られます。封筒の準備は人気のある作業で「もっとやりたい」とリクエストがあるほどです。しかし、作業量が少ないため思うような作業量の提供が出来ていないのが現状です。

### II. 園芸活動

原木による椎茸栽培では散水、浸水、ホダ木の組み直し、収穫と様々な工程での取り組みを行いました。しかし、ネズミ、ナメクジ、ワラジムシ等の害虫の被害が多く、商品として販売できずに廃棄せざるを得ないこともあり、害虫対策に苦労しました。また、天候が不順で秋はほとんど所内で販売した他、うどん作りでの消費となりました。

畑では、これまで継続して栽培しているハマボウフウ、長ネギの他に寄贈して頂いた苗や種でミョウガ、小豆、かぼちゃ、ニラ、あずきの栽培に挑戦しました。土作り、種まき、散水、草取り、収穫の作業を行いました。初めて挑戦したあずきの栽培は小粒でしたが2kgの収穫がありました。天候が不安定で、予定より早く収穫することになり、害虫の被害にもありましたが、収穫した小豆はおしるこにしお楽しみ DAY で頂きました。

大村花き園さんのカーネーションを使用したミニブーケ作りは季節限定の作業として楽しみにしている利用者があり、余分な葉を取る作業を中心に取り組みました。ミニひまわりやハーブの栽培を花壇やプランターで行い、種蒔き、散水、植え替えの作業を行いました。今年も、害虫の被害を受けることが多く苦労しましたが段階的に種まきを行い、ミニひまわりを咲かせ

ることが出来ました。園芸活動では常に虫の被害に悩まされており、今後は更に害虫対策の勉強、研究を行い活動に反映させていかなければならないと感じています。

### Ⅲ. 環境整備

事業所内外のゴミ拾い、草取り、除雪など季節に応じて必要な環境整備を行いました。この冬も大雪だった為、除雪作業、3月下旬からは雪割り作業を行いました。除雪業者により土や砂利が大量にえぐられたため、土や砂利運びをして環境を整えました。また、朝は玄関付近を、活動終了後にはトイレの清掃を毎日の習慣として行えるように支援しました。これらの活動には全員が取り組めるわけではありませんが、可能な利用者には積極的に取り組んでもらえるよう支援しました。また、週に一度のペースで室内や個別集中ワークの用具消毒作業を行いました。更にインフルエンザやノロウイルスの感染防止のため、手洗い場の手拭きタオルを廃止し、おしぼりを使用することにしました。毎日大量に出るおしぼりの洗濯はスタッフが行いますが、干す事やたたみ作業、補充作業は毎日の新しい作業として定着しました。

## (2) 就労継続支援B型事業

### ①はじめに

大きな前進をもたらした1年となりました。

パン・菓子の製造から包装までのすべての工程に、利用者が主体となって取り組めるような支援を継続して行ってきました。今年度は職員の支援力向上を最重要事項として掲げ、各職員は専門知識に基づいた支援を提供できるように取り組んできました。それぞれの能力や個性に合わせて作業量や作業内容を定めるようにし、それぞれに合った作業方法や伝達手段を考え、スケジュールの組み方についても日々検討を重ね工夫しました。

今年度は、職員ミーティングの際に専門知識を学習する機会を多く設けました。その結果、職員はよりしっかりと利用者ひとりひとりに目を向けられるように意識付けがなされ、障がいの特性について理解を深め、それぞれのニーズに沿った支援を提供することができるようになりました。各利用者の障がい特性や個性を理解した上で、それらの強みを生かした作業を提供できるように、少しずつではありますが構造化を図り、作業環境を整備する取り組みを行いました。その結果、多くの利用者は自分に与えられた作業に対して集中して取り組める時間が長くなってきました。

### ②具体的な取り組み

#### I. 作業内容

今年度は、第1工房、第2工房それぞれで製造品目を変え、分業することにより無理なく生産効率を上げられるように、作業分担の再構築を実施しました。

パン・菓子の計量、パンの成形、菓子作り、ラスク作り、袋詰め等の製造作業の他に注文表や伝票の転記、パンの製造数や原材料使用量の集計作業、パンや菓子の袋の準備等の作業を分担して行いました。直接、パンや菓子作りに携わることが難しい利用者に対しては、事務作業やパン製品に付ける商品札の作成などの軽作業を新たに創出し、パンが売れていくことへの喜びやそこに携わっていることへの充実感を実感し、全体共有できるような工夫をしました。

昨年度までカフェとして営業してきた「交流スペース」を、「パンショップ」としてリニューアルオープンし、焼き立てパンを提供することにより集客アップ、収益アップにつなげました。

ショップでは、開店前の清掃や準備、パンの包装や接客、商品の陳列などに利用者が携わり

ました。

## II. 衛生面について

今年度は、より徹底した衛生管理に努めてまいりました。昨年度より導入したユニフォームがより機能的に生かされるよう、着替えの際にヘアバンド、ヘアピンの装着やネット帽の着用が確実にされるような利用者に対する介助を行いました。

また、アリやハエ等の害虫に対する対策も、昨年度より早期にまた重点的に実施いたしました。その他の取り組みといたしましては、一般生菌、大腸菌群、その他近年話題となっている病原菌ウイルスに対する対策として、毎日始業前、就業後にすべての取手類を次亜塩素素によって拭きあげ消毒し、作業中にもアルコール噴霧による消毒を実施いたしました。また、器具洗浄用のスポンジやまな板などの器具類を次亜塩素素によって漬け込み消毒をし、各機械設備の清掃、冷蔵冷凍庫、ホイロなどの庫内清掃を定期的に行いました。

今年度は「ゼロクレームの達成」を達成実施目標に掲げておりましたが、残念ながらパン製品に毛髪混入のクレームが一件あり、達成することができませんでした。次年度こそは達成できるように、今後も日々しっかりとした取り組みを継続してまいります。

## III. 稼働日について

パン・菓子の製造を月曜日～土曜日で行ってきました。土曜日の稼働は4月から11月まで実施しました。

## IV. 販売及び配達について

戸別配達については毎月、注文表を配付し引き続き予約制で行ってきました。配達については花畔、花川地区を中心に配達を行いました。

外販活動については養護学校（札幌高等養護学校、拓北養護学校、豊明高等養護学校、星置養護学校）それぞれで月に1回、パーケリーとしては週に1回の定期販売を行ってきました。今年度も星置養護学校の職員の方々からは、事前に予約注文をいただくかたちで購入していただくお客様が多くいました。また、地域で行われるイベントにも積極的に参加しました。

委託販売については、りんくる福祉の店、石狩市市民活動情報センターぽぽら一と、地域食堂きずな、石狩市役所、JA いしかり地物市場「とれのさと」、図書館売店などでの委託販売を行ってきました。

4月、地下歩行空間で開催されたイベント「ニュースカフェ」に出品し、ご好評をいただきました。5月よりイシカリデリバリーの注文販売がスタートし、7品目の販売を行いました。

6月には、イベント「はまなすフェスティバル」に初参加し、パンの販売を行いました。1月から3月まで授産品フェアに出品し、東急百貨店、地下歩行空間、サッポロファクトリー、HUGマート、北海道どさんこプラザなどで販売が行われ、ご好評をいただきました。

とれのさとでの販売については前年比137%、交流販売スペースについては前年比176%の売上を残し、予算を達成しました。図書館喫茶コーナーについても売上を大きく伸ばしましたが、戸別配達、石狩市役所売店、ぽぽら一については、売上減となっております。

今年度は、新商品を年間12品目以上リリースすることを目標に、パンや菓子の新商品開発にも力を注ぎました。結果的に12品目以上の新商品発表を達成することができ、その多くは今も定番人気商品としてお客様からの支持をいただいております。特に「ぶどうぱん」は、とれのさとにおいて一時生産が追いつかないほどの人気商品となり、一躍パーケリーの主力商品となったほか、クロワッサン生地の切れ端で作りはじめた「クロポー」やクロワッサンの再生



品の「チョコラスク」は、1月から3月に行われた授産製品フェアにおいてリピーターやまとめ買いされるお客様が続出するなど、予想を上回る高評価をいただきました。

クリスマスケーキについても、昨年同様多数のご注文をいただき、合計47台、153,500円の売上となりました。「おいしい」というご感想を多数頂戴し、「バースデーケーキを作ってもらえないか」、「雛ケーキはやらないのか」などのお問い合わせもありました。今後、クリスマスケーキ販売を事業のひとつの柱として継続、拡大を目指す一方、お客様からのご要望に対しどこまで対応できるかといった課題に対しても検討してまいります。

## V. 工賃について

### 平成25年度の時給表

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目以降
55円	75円	90円	110円	130円

### 平成26年度の時給表

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目以降
60円	80円	100円	120円	130円	140円	150円

1年目の利用者には時給55円、2年目の利用者には時給75円、3年目の利用者には時給90円、4年目の利用者には時給110円、5年目以降の利用者には時給130円の工賃を支払いました。

また、12月には今年もボーナスも支給することが出来ました。

平成26年度より規定を変更し、1年目の利用者には時給60円、2年目の利用者には時給80円、3年目の利用者には時給100円、4年目の利用者には時給120円、5年目の利用者には時給130円、6年目の利用者には時給140円、7年目以降の利用者には時給150円の工賃を支給することとします。これらの工賃増額についてはかねてからの課題であり、日々の生産活動において利用者及び職員が目標目的をもって努力を重ねた結果達成できたことは、大変大きな喜びであり、今後の活動に対しても意義をもたらすものと考えております。

成果を評価しつつも、より充実した支援を提供できるよう、課題に対してはしっかりとした取り組み、活動を継続して行ってまいります。